

平成30年度

福井県文書館・福井県立図書館・福井県郷土誌懇談会
講演会

幕末明治
福井150年博
ニッポンの夜明けは福井から

「公議」運動における 福井の役割 —— 横井小楠を通じて

講師 三谷博氏

(跡見学園女子大学教授、東京大学名誉教授)

日時 平成30年9月15日(土)
14:00~15:30

会場 福井県立図書館 多目的ホール
(福井市下馬町 51-11)

＝講演内容＝

幕末の政治運動には「公議」と「尊攘」の2つの流れがあった。
福井は幕末に一貫して「公議」運動のリーダーとして活躍した藩である。
橋本左内による提案、政界復帰後の松平春嶽と横井小楠による幕制改革、
翌文久3年の王政復古・公議変革の企図を経て、王政復古の前後までを通観し、
明治の「王政・公議」政体の実現への寄与を確認したい。

定員 150名

(要申込、先着順)

お申し込み
お問い合わせ

福井県文書館

〒918-8113 福井県福井市下馬町 51-11

TEL 0776-33-8890

FAX 0776-33-8891

MAIL bunshokan@pref.fukui.lg.jp

WEB http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=137

手話通訳と字幕表示を
行います



写真は「横井小楠」(国立国会
図書館ウェブサイトで電子
展示会「近代日本人
の肖像」より)